

■米国：ナバホ石炭火力発電所が 2019 年中に閉鎖の可能性

2018 年 6 月 7 日付の業界紙によると、コロラド川からアリゾナ州の中南部エリアへ水を供給している Central Arizona Project (CAP) は、取締役会において、ナバホ石炭火力発電所 (NGS: Navajo Generation Station) と契約している 225 万 kW の電力購入契約 (PPA: Power Purchase Agreement) を更新しないことに決めた。ナバホ石炭火力発電所の主な収入源は、CAP との PPA であるため、本契約が満期を迎える 2019 年 12 月に発電所は閉鎖する可能性がある。CAP はナバホ石炭火力発電所からの電力購入を終えた後、Salt River Project (SRP: アリゾナ州の電力会社) と 5 年の PPA、メスキート Solar 1 (アリゾナ州マリコパ郡に設置された 15 万 kW の太陽光発電) と 20 年の PPA を締結すると発表している。それぞれの発電単価は、NGS: 5.6 セント/kWh、SRP: 3.6 セント/kWh、Solar 1: 2.5 セント/kWh と見積もられている。